

No.1 岡崎百景の会

事業名 ふるさと景観啓発事業

団体の活動目的は何ですか

「岡崎百景」を通して、ふるさと景観の魅力を広く市民に伝え、地域への誇りと愛着を醸成する。

補助を受けて行った事業を完結に教えてください。

東岡崎駅周辺の夜間景観を調査し、安全で魅力ある夜間景観のあり方を考えるワークショップ。

補助金を受けて事業を行ったことで、そのサービスを受けた相手や市、市民に対してどのような効果がありましたか。

昨年度のワークショップで得た気づきを基に、六所神社参道の暗くて危険な状況の改善策を探り、岡崎市都市基盤部拠点整備課及びまちづくり推進課へ事業提案を行った。

今回の補助事業を通して、団体として今後の活動にどのように繋がっていきたいですか。

過去に作られた「岡崎百景」を消費するのみでなく、新しい景観形成に資する活動として、今日の岡崎の景観の価値やポテンシャルを知り、市民と共に磨いていく活動を行い、ゆくゆくは「続・岡崎百景」を選定するような活動につなげていきたい。



No. 2 NPO法人コネクトスポット

事業名 多様な中高生へのキャリア支援事業

団体の活動目的は何ですか

不登校や複雑な家庭環境に置かれている生徒は学校生活や進路に悩んでいる方が多く、入学した高校でも適応できずに中退してしまった結果、ひきこもりになってしまう傾向がある。

今回の事業を通じて生徒・親御さん・先生が自分に合った進路を安心して選択できることを目指す。

補助を受けて行った事業を完結に教えてください。

①定時制・通信制高校の個別相談会の開催

8/6と11/19にりぶらにて岡崎市内の定時制・通信制高校9校（岡崎高校、岡崎工科高校、鹿島学園高校、おおぞら高等学院、愛知産業大学三河高校、さくら国際高校、NPC高等学院、ルネサンス高校、陽葵高等学院、N/S高等学校）を集めて個別ブースをつくり、来場した生徒や家族が各校の先生へ受験や入学後の相談をできる機会をつくる。中学生、高校生、その親御さん、先生、支援機関の方など述べ160名程度の方が参加している。

②中学校へ訪問

発達障害や不登校などから進路指導に悩む生徒がいた場合には学校の先生と連携して進路相談に応じる。中学校4校、通信制高校1校に訪問して話し合いをする。

補助金を受けて事業を行ったことで、そのサービスを受けた相手や市、市民に対してどのような効果がありましたか。

相談会を開催するための会場費や資料の印刷費用などに充てることで、多くの人に相談できるきっかけをつくることができた。参加者アンケートでは

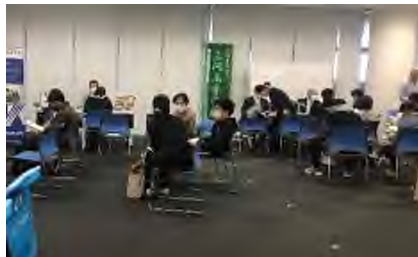
- ・学校によって内容が違うことがよくわかった。
- ・パンフレットだけではわからないのでやはり対面で聞くのはいいと感じた。
- ・様々な選択肢があることがわかった。
- ・学校の具体的なカリキュラムや学費について直接説明を聞くことができてよかったです。

と進路選択へ前向きな気持ちになる意見をいただいている。

今回の補助事業を通して、団体として今後の活動にどのように繋がっていきたいですか。

相談できる機会へのニーズの高さを感じたので、来年度以降も開催に向けて話し合っていくことで、地域に根づく活動にしていきたいと考えている。

より多くの人に知ってもらえるように学校への案内やSNSへの発信など広報も工夫していけたらと考えている。



No. 3 「岩津松平氏輝きの600年」推進懇話会

事業名 岩津城跡整備と維持

団体の活動目的は何ですか

岩津のシンボルである岩津城跡の整備を通じて岩津松平氏の歴史的価値を社会に問い、歴史の陰から明るみに引っ張り出すことに挑戦し、そのことを岩津の街づくり・地域づくりに反映させたい。

補助を受けて行った事業を完結に教えてください。

役員による岩津城跡の整備作業（主に密集した竹、雑木の伐採）は月2回、ボランティア活動による整備作業は月1回実施しています。又、岩津松平氏講座（歴史講座）を年1回行っています。

補助金を受けて事業を行ったことで、そのサービスを受けた相手や市、市民に対してどのような効果がありましたか。

密集していた竹・木を伐採した事により城跡が明るくなり散策に来られる方が増えました。又、ボランティア活動の輪が広がり岩津城跡の歴史的価値が多くの方に知られるようになりました。

今回の補助事業を通して、団体として今後の活動にどのように繋げていきたいですか。

多くの人々に来ていただく為に城跡の整備と維持管理に努めてまいります。地元にもつわる歴史的価値ある事柄を採りあげ講座を開いたり又は回覧版を回したり、チラシを配布したり、情報の発信をして岩津城跡の価値を高めます。



No.4 食アレスマイルネット

事業名 ぱっと見てわかる食物アレルギー

団体の活動目的は何ですか

地震、水害等の災害時に備え、一目見て食物アレルギーだと理解しやすい表示を作製。エピペン所持についても症状が出た時生かせるように表示を作製。患者の精神的負担を少しでも軽減できるよう、また命を救うために様々な場で紹介していく。市役所防災課、岡崎市子育て支援団体等にも贈呈し、役立てていただく。

補助を受けて行った事業を完結に教えてください。

ぱっと見てわかる食物アレルギー表示作製

読み聞かせ会のなかで披露、配布

岡崎市保育課、市内全幼稚園に贈呈

おかざきこそだて会議、ゆきファミリーパーク等の参加イベントで配布

講演、授業等でも紹介、配布

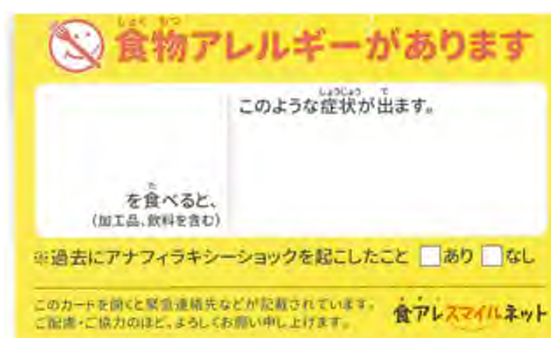
補助金を受けて事業を行ったことで、そのサービスを受けた相手や市、市民に対してどのような効果がありましたか。

普段から一人でも多くの市民が知っていることで、緊急時、災害時に患者の精神的負担を軽くすることに繋がった。事故の起こりにくい環境づくりに繋げることができた。

はっきりと目にみえる形ではわかりにくいかもしれないが、今回の取組は、その助けになっていくと様々な方とやり取りを続ける中で痛感した。

今回の補助事業を通して、団体として今後の活動にどのように繋がっていきたいですか。

作った分だけ配れば終わりではなく、今後も認知度を高め、緊急時災害時に役立つものとしていかなければならない。そのために動き続けたい。



No.5 イリゼ

事業名 ユニバーサルデザイン事業

団体の活動目的は何ですか

性の在り方がマイノリティ（いわゆる性的マイノリティ）である方たちが、自分らしく、安心して集うことのできる場を提供する。また、SOGI（性的指向・性自認）について、少しでも知っていただけるよう、展示会を通じて周知・啓発を行う。

補助を受けて行った事業を完結に教えてください。

①「KITEMIRIN」

性的マイノリティ当事者向けの居場所の提供

②「いろとりどり展2023」

SOGI（性的指向・性自認）に関する展示会

補助金を受けて事業を行ったことで、そのサービスを受けた相手や市、市民に対してどのような効果がありましたか。

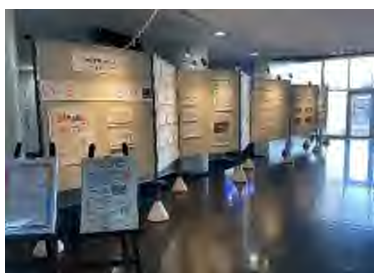
①について、市民だけではなく、遠方からの参加もあった。日常生活では話しづらいことを話せたなど、お声をいただいた。

②交流センター利用者が足を止め、熱心に見てくれた。中には資料を持ち帰り、勉強すると話されたご年配の方もおられた。

特に②について、年齢問わずSOGIに関する周知に繋がった。

今回の補助事業を通して、団体として今後の活動にどのように繋がっていきたいですか。

SOGIに関する展示会について、予想以上の反響があり大きな成果となった。今後、団体員のスケジュール確保など、持続可能な居場所の提供が難しくなる中で、展示会は力を合わせ継続して行っていく。当面は、市民に向けた周知・啓発を柱に活動していく。



No.6 自然観察の里を守る会

事業名 里山保全事業

団体の活動目的は何ですか

本会は山あいの耕作をやめてしまった荒れた旧水田エリアをかつての里山のように、メダカやカエルやトンボや水生植物などの生息する自然豊かなエリアとするために整備活動を続けている。こうした里山の自然を学ぶことのできる、大切なエリアを守っていくことを目的としている。

補助を受けて行った事業を完結に教えてください。

毎週土曜日に会員が集まり里山の保全活動（草刈り、泥上げ、水まわしなど、浅瀬の水辺を維持する活動）を行った。

ボランティアを受け入れたり、子どもたちを対象として6月のホタル鑑賞会、7月の昆虫教室、8月のポンツク大会を開催した。

補助金を受けて事業を行ったことで、そのサービスを受けた相手や市、市民に対してどのような効果がありましたか。

補助金を受けて里山の保全活動に必要な道具（備中、銅長、ノコギリ）や消耗品（混合油、草刈機の替刃、ノコギリの替刃等）を買うことができ、里山を保全することができた。

ボランティアや子どもたちにイベントを通じて里山の大切さを伝えることができた。

今回の補助事業を通して、団体として今後の活動にどのように繋がっていきたいですか。

補助金を受けて里山の保全活動を続けているが、活動資金をどう確保するか、大切な里山の自然を守ってくれる人達をどのように増やすか、素晴らしい二次的自然をPR材料として、この活動を広めていきたいと考えている。



No.7 桜の郷の会

事業名 桜並木の景観保護次世代への継承事業

団体の活動目的は何ですか

岡崎さくら100年プロジェクトに参加（公募）し、970m北本郷地域に鹿乗川導水路川へ60本荘川桜を植樹し、会員で桜木遊歩道の維持管理、地域の景観、住民との交流が生まれ、河川が美化され、今後の活動（桜木管理）において次世代につなげる活動支援を行う。

補助を受けて行った事業を完結に教えてください。

- ・ 鹿乗川導水路側970m草刈り2回 除草剤散布1回
- ・ 矢作中学校生徒34人、先生2人会員8人による合同作業

補助金を受けて事業を行ったことで、そのサービスを受けた相手や市、市民に対してどのような効果がありましたか。

桜の郷の会での活動は桜木の維持管理、次世代に繋げ交流が生まれ地域の活性化に繋がった。

今回の補助事業を通して、団体として今後の活動にどのように繋がっていきたいですか。

岡崎公園の桜、乙川の河津桜、北本郷の荘川桜

市民に知っていただき、名所になって人との交流が生まれると良いと思います。



No. 8 バリアフリーミュージカル劇団<夢バグ>

事業名 そのまま輝け!2024年春

団体の活動目的は何ですか

- ①「最も力の弱い者を中心にして、各々が持てる力を最大限に出しあって共同体を創る」という、当劇団の創立以来の理念を、広く一般市民に訴えるため。
- ②市内で活動している団体同士の交流の場を設けるため。

補助を受けて行った事業を完結に教えてください。

市内の各福祉事業所や美術関係団体等と連携し、バザー、絵画展、ミュージカル上演等を共同で行うイベント。主催は当劇団。なごみんの3階ホールを借り切り、壁面に絵画を展示する。また、前方のステージの他に、各団体による様々なブースを作る。

補助金を受けて事業を行ったことで、そのサービスを受けた相手や市、市民に対してどのような効果がありましたか。

チラシやPR用CDにお金をかけることが出来て、広く来場者を迎えることが出来た。また、来場者の中には初めて障がいを持った方たちの美術や演劇を見る方も多く、来場者アンケートにた、「障がい」というものの捉え方、または「障がいを持つ者とそうでない者との対等性」を考えるきっかけを提供することに繋がった。

今回の補助事業を通して、団体として今後の活動にどのように繋がっていきたいですか。

他団体との繋がりを大切に、何かあれば連携できる関係を作っていきたい。ただ、私たちの団体としては、今までどおり気負わず焦らず、淡々と活動が続けて行きます。私たちが幸福であることがステージを通して多くの観客たちに伝わり、その観客たちが各々何かを考えるきっかけとなれば、これほど嬉しいことはありません。



No. 9 岡崎星と遊ぶ会

事業名 星空観望会

団体の活動目的は何ですか

本会は広く一般の人に星空に親しんでもらうことにより宇宙の広大さ、自然の美しさ、不思議さ、さらに地球環境の大切さ等に興味を持ち、考えるきっかけを提供し癒しや広い心を育むことを目的とする。

また、中山間地の良好な星空を地域保存資源と考え中山間地域活性化を目的とする。

補助を受けて行った事業を完結に教えてください。

葵湯星空観望会、桜城橋月待会、わんパークスターウォッチング、乙川星空観望会、オクオカスターウォッチング、千万町楽校星空ライブ

みつわ広場流星群ウォッチング、羽根小学校星空観望会、丘noue星遊び、岡崎美術博物館スターアートウォッチング、友愛の家月見会

補助金を受けて事業を行ったことで、そのサービスを受けた相手や市、市民に対してどのような効果がありましたか。

天体望遠鏡で実際の天体を観察したことがない方々に観察する機会を提供できた。月の満ち欠けや地球の自転などを体感し気づくチャンスを提供した。夜空にある星に名前があり星座を形成していることを知り、覚えてもらえた。

今回の補助事業を通して、団体として今後の活動にどのように繋がっていきたいですか。

天体望遠鏡を活用し明るい街中でも多くの方に実際の天体を観て触れて楽しんでもらいたい。

手配りチラシで活動を認知してもらい多くの方に星に親しみ宇宙の神秘、感動を伝えていきたい。



No.10 四字熟語と頭の体操

事業名 四字熟語と頭の体操及び令和6年新春四字熟語かるた大会

団体の活動目的は何ですか

四字熟語という国語文化に興味を持つ老若男女が四字熟語かるた大会に参加し交流を図る。その中で四字熟語への関心、奥深さをより身近に感じて楽しさを味わってもらふ。国語力の向上を図る。

補助を受けて行った事業を完結に教えてください。

壁面に四字熟語を投影し、それを見て参加者が500枚程のカードの中から同じ四字熟語を探し取る。四字熟語によっては類義語・対義語・ことわざ・他を回答することでさらにポイントが加算される。

補助金を受けて事業を行ったことで、そのサービスを受けた相手や市、市民に対してどのような効果がありましたか。

補助金を会場費や印刷物、また、教材本となるものに充てられたことで市内外に開催を周知したため、四字熟語を熱烈に愛する老若男女が集まり本気で戦えて自分の実力を知ることができた。

今回の補助事業を通して、団体として今後の活動にどのように繋がっていきたいですか。

大会に参加したことでさらに四字熟語に「触れたい・負けた悔しさを取り戻したい・もっと脳トレとして楽しみたい」の感想を聞き、四字熟語を知る糸口になるチャンスとしてイベント・学校・子どもの家・老人会などで積極的に開講していきたい。



No.11 岡崎市で発達障がい・不登校を支える会「ゆい」

事業名 発達障がいと不登校の子どもたちとともに歩いていくために

団体の活動目的は何ですか

発達障がい・不登校の知識のない子育ては、誰にも話せない孤独感を生み、地域で孤立します。その親子の住む地域の人たちは正しい支援の仕方がわからず寄り添うことができません。地域で安心安全に生活するために知識と対応を学んでもらうため、活動しています。

補助を受けて行った事業を完結に教えてください。

発達障がい・不登校の子ども親が安心安全に話せる場所を提供する交流会は毎月開催する。関心のあるテーマを学べる講演会は、発達障がい・不登校の理解に繋がります。

補助金を受けて事業を行ったことで、そのサービスを受けた相手や市、市民に対してどのような効果がありましたか。

発達障がい・不登校の親子そしてその地域の住民が発達障がい・不登校を正しく理解することで寄り添うことができ、また支援することに繋がりました。

今回の補助事業を通して、団体として今後の活動にどのように繋がっていきたいですか。

昨年発表された不登校数は30万人になり、毎年増えています。不登校の子どもたち、その同じ数の不登校の親が悩んでいます。「ゆい」の啓発活動と必要とあされる情報を提供します。

